

## 学校教育委員会報告



# 第3回 学校交流会を開催して

榎原 弘之\*

*Hiroyuki Narabara*

河田 直樹\*\*

*Naoki Kawada*

今年（2022年）の3月4日（金）13時～16時15分で、学校教育委員会行事として、完全オンライン形式での学校交流会が、九州工業大学をホスト校として開催された。

参加者総数は、29名（内訳：教員等学校関係者11名、学生18名）であった。第1回が計21名、第2回が35名の参加であったので、ここまで増加傾向にあったところ、今回やや減となったが、第4回以降も参加者が増えるように企画していきたい。

今回の交流会の特色は、多くの参加学生が卒業間近にあったため、これから社会に出ていくに当たって、研究で学んだ品質工学を活かすための参考として、大学時代に品質工学を学び社会で活躍されている学会員に講演をお願いした点である。

今回の全体のプログラムは以下の通りである。

### <交流会プログラム>

#### 開会の挨拶

学校教育委員会 副委員長 埼玉工業大学  
河田直樹

第1部 社会での品質工学の学びの活かし方  
「着磁条件による磁石表面の磁束密度分布制御」

発表者 (株)東海理化 山村英記

第2部 研究発表

司会 各指導教員（リレー方式）

#### <大学院修士論文研究中間発表>

(1) 模型を用いたMT法による鉄道車両の状態監視

\* 九州工業大学

\*\* 埼玉工業大学

技術の研究

埼玉工業大学大学院工学研究科博士前期課程1年  
池田圭佑（河田研究室）

(2) 金型変形挙動可視化へのMT法の適用

埼玉工業大学大学院工学研究科博士前期課程1年  
金城 寿（福島研究室）

休憩

#### <卒業研究発表>

(1) 3Dプリンタ試作品と射出成形部品における スナップフィットの機械的物性値関係性調査

九州工業大学 情報工学部知的システム工学科4年  
國松遙平（榎原研究室）

(2) 超硬合金の収縮予測における予測手法の比較

福井工業高等専門学校 機械工学科5年  
昆沙賀充（伊勢研究室）

(3) 3Dプリンタ製ウクレレの研究

埼玉工業大学工学部機械工学科4年  
橋本隼輔（五味研究室）

#### 閉会の挨拶

学校教育委員会委員長 九州工業大学 榎原弘之

第1部では、社会での品質工学の学びの活かし方と称して、これから卒業を迎える学生、あるいは就職活動を進めている学生にむけて、学生時代に品質工学を学び、社会に出て業務で活用している学会員にこれまでの経験と教訓について、(株)東海理化の山村英記氏に「着磁条件による磁石表面の磁束密度分布制御」というテーマでご講演いただいた。講演の前半部分では、業務の中でどのように最適化を行っていったか、特に部署間の連携による全体最適化